

平成 29 年度春の政策協議〔個別協議〕
事業マネジメントシート及び補足資料

4月25日【戦略企画部】

施策推進において重要な課題がある取組や県民の関心の高い取組

	協議項目名	頁
1	次期広聴広報アクションプランについて	P1

【主担当部局：戦略企画部】

めざす姿

県民の皆さんの視点に立った県政情報の発信や、県政に対する意見や評価が適切に把握されるなど、充実した広聴広報活動が行われています。これにより、県民の皆さんの県に対する理解や共感、信頼が深まり、県政への積極的な参画や提案など、協創の三重づくりが進んでいます。

平成31年度末での到達目標

県政情報が、多様な広報媒体を通じて県民の皆さんの視点に立って効果的に発信されることで、県民の皆さんの県に対する理解や共感、信頼が深まるとともに、県民の皆さんの声を幅広く受信する広聴機能がより一層充実しています。

評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	「県民指標」「活動指標」の目標達成状況をふまえ、「ある程度進んだ」と判断しました。
----------	----------------	------	---

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

県民指標						
目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
得たいと思う 県情報が得ら れていると感じ る県民の割合	30.2%	35.0% 30.0%	0.86	37.0%		50.0%
目標項目の説明と平成29年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	みえ県民意識調査で、得たいと思う県の情報が、得られていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した県民の割合					
29年度目標値 の考え方	31年度には県民の半数の方が実感していることをめざして目標値を50.0%に設定し、毎年度5%ずつの増加を図ることとしていましたが、28年度実績値をふまえ、29年度目標値を37.0%としています。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
40501 効果的な 広聴広報機能の 推進（戦略企画 部）	県民等による県 政情報の拡散件 数		73,000 件 61,768 件	0.85	88,000 件		123,000 件

40502 戦略的なプロモーションの推進（戦略企画部）	県広報プロモーションのファン数		36,000人	1.00	38,000人		42,000人
		-	40,721人				
40503 統計情報の効果的な発信と活用の促進（戦略企画部）	統計情報利用件数（みえDataBoxアクセス件数）		85万件	1.00	85.5万件		86.5万件
		83.7万件	85.5万件				
40504 行政情報の積極的な公開と個人情報の適正な保護（戦略企画部）	公文書や個人情報の開示決定等における開示・非開示判断の適正度		0.5%以下	5月中旬頃判明	0.5%以下		0.5%以下
		0.82%	5月中旬頃判明				

（単位：百万円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
予算額等	1,228	548	484		
概算人件費		593			
（配置人員）		65			

平成28年度の取組概要と成果、残された課題

- ①平成27年3月に策定した三重県広聴広報アクションプラン（～28年度）に基づく取組について振り返り、次期アクションプランの中間案をとりまとめました。効果の高い戦略的なプロモーションや、ソーシャルメディア等新たなメディアの有効活用、提供する情報の質の更なる向上等に取り組む必要があるとともに、組織横断的なマネジメント機能の強化について引き続き取り組む必要があります。
- ②伊勢志摩サミット開催で高まった知名度を生かし、更なるイメージアップを図るため、首都圏等のメディアに対しプロモーションを行い、テレビ番組（3件）、雑誌掲載（5件）、新聞掲載（7件）、ウェブのニュースサイト（607件）などの露出につながりました。また、県と市町が連携し、地域の魅力を紹介するプロモーションサイト「つづきは三重で」や、関係部局が管理するソーシャルメディアで、誘致・誘客や産業振興、移住・定住促進、少子化対策等の取組にかかるプロモーションを実施しました。引き続き、全庁で連携して訴求力の高いプロモーション活動に取り組む必要があります。
- ③県広報紙やテレビ、ラジオ、新聞、県ウェブサイト、ソーシャルメディアなど、メディアのベストミックスによる効果的・効率的な情報発信に取り組みました。県広報紙について平成28年4月から、紙媒体では政策的内容を掲載したタブロイド判として新聞折込による配布を行い、またデータ放送では即時性のあるイベントやお知らせ情報を掲載するなど、広報手法の転換を図りました。しかしながら、データ放送による県情報の入手割合が2.2%に留まるなど課題も残されていることから、さらなる改善と周知に取り組む必要があります。
- ④県ウェブシステムについては、平成28年4月にデザインや構成の見直し、スマートデバイスへの対応などを行いました。職員が質の高い情報を簡易に提供し、県民が県ウェブサイトから、情報をより簡単に入手するためには更なるシステムの機能改修が必要です。
- ⑤広聴活動については、県民の意見や提案を県政運営に生かすため、「県民の声相談」（県ウェブサイト公開582件）、「IT広聴事業（e-モニターアンケート）」（14回）「みえ出前トーク」（138回）等を実施しました。

- ⑥ 5年周期調査の経済センサスー活動調査及び社会生活基本調査、毎年調査の学校基本調査等、毎月調査の労働力調査、毎月勤労統計調査等に取り組み、迅速かつ正確なデータ収集や、審査、集計、公表等の事務を着実に実施しました。平成27年国勢調査については、平成28年10月に人口等基本集計、平成29年1月に移動人口の男女・年齢等集計等を公表しました。統計調査をめぐっては、全国的に統計調査員の確保が困難となっている現状の中、統計調査員の確保及び資質の向上を図る必要があります。
- ⑦ 主要経済指標等の最新の統計情報をインターネット（「みえDataBox」）で提供し、「統計でみる三重のすがた」や「三重県統計書」「三重県勢要覧」等の各種統計資料を刊行しました。統計の普及と利活用を推進するため、引き続き統計調査への理解促進を図る必要があります。
- ⑧ 情報公開事務に関する研修会（22回、600人受講）及び個人情報保護に関する研修会（17回、682人受講）を開催するとともに、「開示請求事務の手引」や「個人情報保護ハンドブック」を改訂し、情報公開・個人情報保護制度の的確な運用のための支援を実施しました。しかしながら、争点となる非開示項目が複数ある審査請求事案が多かったこともあり、開示決定等における判断の適正度は目標値を下回りました。情報公開事務がより適正に執行されるよう、研修内容の充実等を図っていく必要があります。また、個人情報の漏えい事案が発生しており、引き続き、個人情報保護条例の適正な運用を図っていく必要があります。
- ⑨ 三重県情報公開審査会、三重県個人情報保護審査会については、効率的な運営を図るため、両審査会を統合した「三重県情報公開・個人情報保護審査会」を新たに設置することとし、関係条例の整備を行いました。

・県民指標については前年度実績とほぼ同じ割合にとどまり、目標値を達成出来ませんでした。属性別の分析に加え、同時に実施した情報入手に関する調査結果もふまえた分析を行い、要因及び対応策について検討の上、出来ることから取り組みます。

平成29年度の取組方向

【戦略企画部 副部長兼ひとづくり政策総括監】 横田 浩一 電話：059-224-2009】

- ① 次期広聴広報アクションプラン（平成29年度～31年度）を策定し、戦略的なプロモーションの推進、メディアの強化・活用、質の高い情報発信に向けた体制づくりの3つの戦略テーマのもと、「質」の高い情報コンテンツづくり、メディアの効果的な活用の2つの視点で具体的な取組を展開していきます。
- ② 「県民」と三重の魅力的な資源（人、もの、場所）をつなぐ役割を担うプロモーションサイト「つづきは三重で」を展開し、市町等関係機関と連携して県全体の魅力発信に取り組みます。また、雑誌やTV等の首都圏のメディアを活用して、県の公式サイトや、プロモーションサイトへの誘導を図ることで、各部局が取り組む事業の認知度を向上させるなど情報発信での支援を行います。
- ③ 第6回みえ県民意識調査結果等も分析し、平成28年度にリニューアルを行った、広報紙及びデータ放送、ウェブサイト等の県広報ツールの認知度向上、情報の質の向上を図るとともに、ソーシャルメディアを含むメディア間の連携等、メディア活用の最適化に取り組みます。
- ④ 県民が県ウェブサイトを通してより簡単に情報を入手できるよう、県民の意見等を的確に把握し、利用しやすく質の高いウェブサイトへと改善を重ねるとともに、動画等による訴求効果の高い県政情報の発信について充実を図ります。また、より更新がしやすいシステムに改修を行うとともに、危機事案発生時等におけるシステムの安定稼働の確保をめざした改修にも引き続き取り組みます。
- ⑤ 県民の声相談事業について、県民から寄せられた意見や提案に対して、丁寧に対応し、県政に係る

ものについては、適時適切に取り組むよう、担当部局に働きかけます。また、「みえ出前トーク」「e-モニター」を活用した広聴活動を行うとともに、各部局とも連携し、広聴機能の充実を図ります。

- ⑥5年周期調査の就業構造基本調査、毎年調査の工業統計調査、学校基本調査等、毎月調査の労働力調査、毎月勤労統計調査等に取り組み、迅速かつ正確なデータ収集や、審査、集計等を実施し、結果の分かり易い公表に努めます。また、統計調査員等の功績を表彰し意欲を高め、希望者を登録するなどして、統計調査員の確保に努めるとともに、調査員研修などの機会を通じて資質向上を図ります。
- ⑦主要経済指標等の最新の統計情報をインターネット（「みえ DataBox」）で提供し、「統計でみる三重のすがた」や「三重県統計書」「三重県勢要覧」等の各種統計資料を作成します。また、小中学生等を対象とした「統計グラフ三重県コンクール」の実施や、統計に親しんでもらうためのコラム「Hello! とうけい」のホームページへの掲載など、県民に統計を身近なものと感じていただけるよう引き続き取り組んでいきます。
- ⑧情報公開・個人情報保護制度の的確な運用と、個人情報の適正管理の強化や漏えいの防止を図るため、審査会答申や個人情報漏えい事例を題材にした演習型研修を実施するなど、職員研修の充実等に取り組めます。
- ⑨実施機関の非開示決定等に対し審査請求がなされた場合、早期に答申を行えるよう迅速な審理に努めます。

* 「○」のついた項目は、平成29年度に特に注力するポイントを示しています。

* 「創 番号」のついた項目は、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIの基本的な取組方向の番号を示しています。

◆県民意識調査の結果をふまえ検討を要する事項

1 「県の情報が得られている」と実感している割合について

- ・「実感している」割合が、目標値の35%に対し、昨年度と同等の30%に留まった。
- ・地域別では、伊賀、伊勢志摩の割合が低くなっている。
- ・年代別では、70歳代以上は目標値を超えているが、他の年代層は全体割合より低くなっている。
- ・配偶関係別では、未婚、離別・死別が低い。
- ・世帯別では、単独世帯及び世帯収入300万円未満の割合が低くなっている。（裏面参照）

2 「情報の入手手段」について

- ・「情報の入手手段」は、世代間で媒体ごとの利用率に大きな差がある。
- ・「県が提供している情報の入手手段」は、『県政だより』『パブリシティ』の割合が高く、ラジオ、データ放送等他の媒体は20%以下となっている。

○情報の入手手段（%）

	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
新聞	18.0	22.7	46.9	59.4	78.3	86.0
インターネット	71.0	71.9	63.3	56.8	39.7	16.8
SNS	42.7	19.9	11.9	6.3	1.5	0.1

○県が提供している情報の入手手段

媒体別	県政だより	パブリシティ	ポスター等	ラジオ	県政チャンネル	県Web	SNS	データ放送
(%)	69.0	45.7	16.4	14.3	12.1	10.8	3.5	2.2

3 若年層（20、30代）に向けた情報発信

- ・若年層の「情報の入手手段」は『インターネット』の割合が高く、特に18~20代では『SNS』から情報を入手する割合が高くなっているが、「県が提供している情報の入手手段」では、『県Web』の割合が低くなっている。
- ・「県が提供している情報の入手手段」では、そもそも『得ていない』と回答する割合が、若年層で高くなっている。

○県が提供している情報の入手手段（%）

	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
県政だより	28.3	55.8	63.8	68.4	78.3	80.4
パブリシティ	23.4	23.8	36.2	41.7	54.1	64.9
県Web	12.4	13.1	12.5	14.0	9.4	6.2
SNS	11.0	10.4	4.5	3.0	1.4	0.3

○「県が提供している情報の入手手段」で『得ていない』と回答（%）

18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	全体
35.9	22.9	16.8	14.9	8.4	7.3	14.0

図表 2-3-8 得たいと思う県の情報が、得られている(属性別)

	得たいと思う県の情報が、得られている				実感している層		実感していない層	
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	% (前回差)	% (前回差)	% (前回差)	% (前回差)
全体	26.7	28.3	21.1	20.6	30.0 (-0.2)	49.4 (0.6)		
地域								
北勢	27.6	26.9	20.4	21.6	31.2 (1.2)	47.3 (-1.5)		
伊賀	22.0	30.3	24.3	20.8	24.6 (-1.3)	54.6 (1.6)		
中南勢	28.8	29.7	20.2	18.0	32.1 (0.1)	49.9 (1.4)		
伊勢志摩	23.6	29.5	22.9	21.4	26.3 (-6.1)	52.4 (7.5)		
東紀州	24.6	26.6	21.2	23.2	29.0 (4.7)	47.8 (-6.1)		
性別								
男性	26.0	31.0	23.9	16.2	28.9 (-1.6)	54.9 (3.9)		
女性	27.4	26.1	18.9	23.9	31.0 (1.2)	45.0 (-2.5)		
年齢								
18歳から20歳代	24.4	23.4	19.9	27.5	29.2 (-)	43.3 (-)		
30歳代	24.5	22.3	24.2	25.0	28.3 (3.1)	46.5 (-4.8)		
40歳代	26.9	30.2	22.1	18.0	29.7 (-0.1)	52.3 (4.6)		
50歳代	24.6	29.8	22.3	21.0	27.0 (-2.3)	52.1 (-1.2)		
60歳代	26.7	32.4	20.9	17.5	29.2 (1.7)	53.3 (0.7)		
70歳以上	30.5	25.2	18.8	20.6	35.5 (-1.7)	44.0 (2.3)		
主な職業								
農林水産業	27.5	35.3	17.6	17.7	29.5 (-4.1)	52.9 (7.8)		
自営業・自由業	26.7	27.2	23.4	20.2	29.2 (-1.8)	50.6 (-1.0)		
正規職員	26.0	31.0	23.0	17.3	28.6 (0.6)	54.0 (1.8)		
パート・バイト・派遣	25.5	26.3	22.3	22.4	28.5 (3.0)	49.1 (-4.4)		
その他の職業	21.8	30.3	25.6	20.5	23.5 (-5.4)	55.9 (8.4)		
学生	26.0	30.1	12.3	30.1	27.4 (-10.9)	42.4 (-0.9)		
専業主婦・主夫	32.4	27.6	15.2	20.5	36.7 (1.9)	42.8 (-0.4)		
無職	27.3	26.9	19.3	21.8	32.0 (-0.7)	46.2 (0.8)		
配偶関係								
未婚	23.6	25.7	20.9	26.8	26.5 (-0.8)	46.6 (-1.0)		
有配偶	28.0	29.5	20.8	18.3	31.5 (0.5)	50.3 (0.4)		
離別・死別	24.2	24.0	23.5	25.8	26.6 (-3.7)	47.5 (2.2)		
世帯類型								
単独世帯	23.2	27.6	23.7	22.7	26.0 (-3.8)	51.3 (4.4)		
一世代世帯	28.0	28.9	21.5	18.0	31.7 (1.9)	50.4 (0.3)		
二世帯世帯	26.8	28.0	21.2	20.9	29.9 (-0.8)	49.2 (-0.1)		
三世帯世帯	27.1	30.3	18.4	20.7	30.5 (0.3)	48.7 (0.7)		
世帯収入								
~100万円未満	23.6	21.5	23.2	27.9	27.5 (-1.0)	44.7 (0.3)		
~200万円未満	23.3	27.2	25.4	21.1	26.3 (-2.6)	52.6 (4.2)		
~300万円未満	24.0	28.7	23.0	21.2	27.1 (-4.5)	51.7 (3.9)		
~400万円未満	29.6	29.9	19.9	16.7	33.4 (3.9)	49.8 (-0.4)		
~500万円未満	29.2	26.2	22.6	19.4	31.8 (0.1)	48.8 (-2.0)		
~600万円未満	26.6	33.1	19.7	16.2	30.9 (0.3)	52.8 (2.1)		
~800万円未満	28.1	27.5	20.9	19.6	31.9 (1.1)	48.4 (-3.1)		
~1,000万円未満	31.3	32.2	18.5	14.9	34.4 (2.7)	50.7 (1.3)		
1,000万円以上	28.9	32.4	19.2	17.3	31.1 (-0.3)	51.6 (-1.1)		

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

出典：第6回県民意識調査